

夏季体育祭を実施しました

夏の陽射しが照りつけるグラウンドで、令和2年度の体育祭が開催されました。例年は5月に実施していましたが、今年は新型コロナウイルスによる臨時休校が5月末まで続いた関係で、夏休み明けの9月5日（土）の開催となりました。また、密を避けることと、熱中症への対応から、事前の練習から当日の実施内容に至るまで、多くの制限や工夫が施される中で行われました。

まず、「密を避ける」ために、練習場所はグラウンドのみとし、応援練習も4団がグラウンド内の指定された場所で行いました。整列も行進も常にソーシャルディスタンスを意識して行いました。そのため、当日の来場者も制限され、来場できるのは3年生の保護者が各家庭1名だけとしました。

「熱中症への対応」としては、各団のテントへのミストと冷風扇の設置と生徒個々への氷嚢の配付、そして午前中のみという開催時間の短縮と、それに伴う競技数の縮小でした。しかし、それでも生徒たちは、開催できることに喜びを感じ、短い時間の中でも全員が一丸となって全力で活動し、精一杯楽しみました。



テントに取付けられたミストノズル



各団席に置かれた冷風扇



氷嚢作り



入場行進



選手宣誓



3年生による集団行動



徒競走



全校生徒によるラジオ体操



8の字長縄跳び

2年生、郷育プロジェクトで稲刈り体験

9月9日水曜日。厳しい残暑の中、市内大森の渡邊浩臣さんの水田において、「郷育プロジェクト」の一環として、2年生が稲刈り体験を実施しました。

各クラスが6班編成を3班ずつの2グループに分かれ、「鎌を使って刈り取る作業」と、「藁で束ねて干す作業」を交代しながら行いました。初めはぎこちなかった鎌の使い方も次第に上手になり、刈り取り作業のスピードも速くなりました。教えていただいた藁を使った束ね方も、初めのうちはうまくできなかった生徒も、お互いに教え合い、確認し合いながら作業を進めていくうちに、しっかりと束ねられるようになりました。

水田を管理してくださっている渡邊さんが準備してくださった竹竿が見るうちに稲わらのカーテンになりました。

